

令和 7 年度

事業計画

令和 7 年 3 月

八千代市立図書館

目 次

1. 図 書 館 全 体	1
(1) 基本方針	
(2) 重点目標	
2. 中 央 図 書 館	2
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	
3. 大和田図書館	5
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	
4. 八千代台図書館	7
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	
5. 勝田台図書館	9
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	
6. 緑が丘図書館	12
(1) 基本方針・特色	
(2) 重点目標に対する取組	

1. 図書館全体

（１）基本方針

「八千代市立図書館サービス方針」の基本理念である「地域に根ざしたサービスを行う市民にやさしい図書館」を目指し、中央図書館を中核とした市内全図書館が連携することにより、市民への効率的な資料提供やレファレンスサービスの充実等に努める。

また、市民一人ひとりの生涯にわたってのさまざまな活動と課題解決を支援し、暮らしに役立つ地域に根ざしたサービスを行うことで、知的要求に応えていくとともに、まちづくりの拠点として郷土・行政に関する資料の収集やボランティア活動の支援を行う。

さらに、児童サービスや子育て世代へのサービス、障がい者や高齢者に向けたサービスなど対象者別に細やかなサービスを行い読書活動の充実と利用の促進に努める。

（２）重点目標

「地域に根ざしたサービスを行う市民にやさしい図書館」を目指すため、まず図書館を知ってもらい、足を運んでもらうことに焦点をあて、以下の３つの重点目標を定める。

① 広報媒体への情報提供数の増加（前年度比）

広報やちよ・地域新聞・図書館及び市役所 HP・各所へのポスターの掲示，チラシ配布等で、積極的な情報発信を図ることで、対前年度比増を目指す。

② 来館者数の増加（前年度比）

未利用者へのPRの強化や魅力あるイベント・展示の実施等により、対前年度比増を目指す。

③ 利用者満足度の調査

利用者のニーズや意見を把握するため、利用者満足度調査を行う。

利用者満足度の現状維持もしくは「満足」の比率上昇を目指す。

2. 中央図書館

(1) 基本方針・特色

八千代市立図書館の中心館として、市内4館への支援を行い、八千代市立図書館すべての利用者へ迅速な図書館サービスの提供と実施に努める。用途別に分かれた学習室の豊富さ、閲覧席の多さ、視聴覚ブースの設置等、市内の図書館の中でも滞在型の図書館としての特色を活かし、来館者の利用促進を図る。

子育てサービス、医療情報サービス、ビジネス支援、併設している市民ギャラリーとの共同事業等、多様な図書館事業を実施し、図書館への来館を誘致するとともに、ボランティア団体等の活動を支援する等、本の貸出だけではなく、新たな学びや新しい仲間との出会いの場となる機会の創出に取り組む。

(2) 重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

Xにイベント情報を掲載（毎日。現状維持）

Instagramにイベント情報を掲載（毎日。現状維持）

市ホームページにイベント情報を掲載（毎日。現状維持）

情報メールによるイベント情報の発信（随時。現状維持）

公式LINEによるイベント情報の発信（月2回。現状維持）

市民ギャラリー、近隣の施設や学校へポスター・チラシの配布（随時。現状維持）

② 来館者数（前年度比）

未利用者に対し、イベントによる図書館周知やオンラインアンケートの実施を検討する。学校連携等により利用が落ち込んでいる学生への図書館利用促進に努める。

具体的には6年度は5年度より110%増の29万人の見込み。7年度はイベントや展示のさらなる充実も図り、6年度見込より増の30万人を目標とする。

③ 利用者満足度

5年度の利用者満足度調査において「満足」「やや満足」と回答した合計の割合が図書館サービス：93.4%、図書館施設について：92%、図書館スタッフについて：93.7%だった。

6年度の利用者満足度調査は現在調査中であるが、7年度においても現状の水準を維持、向上できるように努める。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内容
1	おはなし会	週 1 回 以上	児童	小学生以下を対象に素ばなし, 絵本の読み聞かせ, 本の紹介など
2	親子で楽しむ絵本の会	毎月 1 回 以上	親子	2～3 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ, わらべうたなど
3	赤ちゃんを楽しむ 絵本の会	毎月 1 回	親子	0～1 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ, わらべうたなど
4	こども読書週間読書振興 行事	年 1 回	児童	中学生以下を対象に読書振興行事や展示等を開催
5	読書週間読書振興行事	年 1 回	一般	読書振興行事や展示等を開催
6	ブックリサイクルフェア	年 1 回	一般 児童	図書館で除籍等により不要となった資料を提供する
7	歴史講座	年 1 回 以上	一般	古文書, 郷土史, 遺跡などを題材にして歴史を学ぶ講座を開催
8	地域活動支援	年 1 回 以上	一般 児童	地域で活動されている個人, 団体を連携してイベントを開催
9	児童サービス	年 1 回 以上	幼児～ 小学生	児童が楽しめるイベントを開催
10	暮らしの支援講座	年 1 回	一般	法律や防災など暮らしに関する支援講座を開催
11	施設利用促進	随時	一般 児童	図書館を有効活用してもらうためのイベントを開催
12	SDG s 推進事業	年 1 回	一般 児童	市民に SDG s を推進してもらう事業を開催
13	文学講座	年 1 回 以上	一般	文学についての講座を開催
14	多言語支援	年 1 回 以上	幼児	主に未就学児を対象に日本語以外の言語に触れるイベントを開催
15	ティーンズサービス	年 1 回	中高生	中高生を対象に読書関連支援事業を開催
16	障がい者向けサービス	年 1 回	一般	障がいがある方でも参加できる事業を開催
17	インターネットを使った 図書館利活用支援	年 1 回 以上	一般 児童	WebOPAC や電子書籍の使い方等の講座を開催
18	中高齢者サービス	年 1 回 以上	一般	中高齢者向けに関するサービスを開催

19	医療情報講座	年 1 回 以上	一般	医療に関する講座を開催
20	調べる学習支援講座	年 1 回 以上	小 中 学 生	図書館の資料等を使って調べる学習の支援講座を開催
21	読書推進	年 1 回 以上	一般 児童	本のお楽しみ袋等, 利用者の読書を推進する事業を開催
22	科学講座	年 1 回 以上	児童	科学についての実験や工作の講座を開催
23	ICT の活用教育	年 1 回 以上	一般	主に高齢者を対象に基本的な ICT の使い方講座を開催
24	図書館を使った調べる学習コンクール	通年	小 中 学 生	3 館が連携して図書館を使った調べる学習コンクールを開催
25	プログラミング関連支援	年 1 回 以上	小 中 学 生	小中学生のプログラミング授業必須化に向けて STEAM 教育等の講座を開催
26	子育て支援サービス	随時	乳幼児	図書館利用者向けの無料託児サービスを開催
27	市民ギャラリー連携	年 1 回	一般 児童	市民ギャラリーと協働して, 専門性を活かしたサービスを提供

(4) 特記事項

4 月より自動出納書庫が本格稼働予定。

3. 大和田図書館

（１）基本方針・特色

大和田図書館の一般室は、大和田公民館との複合施設であるため、公民館との連携に努める。また、児童室は、同じ敷地内にある２階建ての別館で、１階は、おはなしコーナーがあり絵本を排架、２階には物語や調べ学習の本を排架している。隣が公園であることや児童室が一般室と別の建物であることから親子での来館も多いため、児童や親子対象の行事に力を入れていく。

（２）重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

情報メール及びLINEによるイベント情報の発信（随時。現状維持）

すてっぷ21大和田へ利用案内等の配布（年１回。現状維持）

近隣の幼稚園や学校へポスター配布（年２回→年４回に増加）

② 来館者数（前年度比）

令和５年度に別館の屋根等改修工事が終了したことから、令和６年度は来館者数が増加すると見込んでいるが、令和７年度については大きな変化の要因はないため、イベントと展示の充実を継続することにより、６年度見込みの３万５千人を維持したい。

③ 利用者満足度

令和５年度の利用者満足度調査において「満足」「やや満足」と回答した合計の割合が、サービス面が80.4%、施設について87.7%、職員の対応について93.6%だった。令和７年度においても現状の水準を維持・向上できるよう努力していく。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内容
1	おはなし会	毎週1回以上	児童	小学生以下を対象に素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	親子で楽しむ絵本の会	毎月1回(8月は除く)	親子	2～3歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
3	赤ちゃんを楽しむ絵本の会	毎月1回(8月は除く)	親子	0～1歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
4	大人のためのおはなし会	年2回	一般	素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
5	本だيس木	年1回以上	児童	幼児から小学生を対象に、本の感想などを用紙に書き、本だيس木(木の形をした台紙)に貼る
6	図書館クイズ	年2回	児童	本や図書館に関するクイズ
7	親子でチャレンジ(公民館と共催)	年2回	親子	親子で一緒に和紙に絵を描く
8	手話のおはなし会	年1回以上	児童	手話による絵本の読み聞かせ
9	夏のおはなし会	年1回	児童	素ばなし、大型絵本の読み聞かせ、本の紹介など
10	冬のおはなし会	年1回	児童	素ばなし、大型絵本の読み聞かせ、本の紹介など
11	ぬいぐるみおとまり会	年1回	児童	1日目はぬいぐるみを持参して、おはなし会に参加してもらう。2日目に図書館であずかったぬいぐるみの写真撮影。3日目にアルバムを親子で作成
12	千支のスタンプラリー	年1回	児童	千支に関する本を読んでスタンプを集める
13	50音ブックマイスター	通年	児童	読んだ本のタイトルの頭文字のスタンプを集めて、50音を完成させる
14	新春福引	年1回	一般	雑誌の付録を景品にした福引
15	ブックリサイクルフェア	年2回	一般	図書館で除籍等により不用になった資料を提供する

4. 八千代台図書館

（１）基本方針・特色

八千代台駅周辺では既存の建築物の解体・建て替えが相次いでおり、数年の間に界隈の印象が大きく変わる可能性がある。八千代台図書館においては、令和7年度に開館から50年の迎える節目の年となり、これまでの歴史に敬意を表しつつも、新たな取組を開拓することで、従来以上に八千代台地区に貢献できる地域図書館であり続ける方針である。

比較的各年代の利用を見込める傾向にあるため、引き続き一般・児童を問わない数々のイベント・講座を実施する。その際には引き続き公民館との連携を図ることで、互いの強みを講座へ反映させる。

ティーンズコーナーの位置を見やすい場所へ移設した。展示等を強化するとともに、令和7年度は少しずつでも資料の更新を実施していく。従来手薄であったティーンズ世代に対する八千代台図書館の存在感を高めていく。

（２）重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報を掲載。（毎月。前年度増）

情報メール及びLINEによるイベント情報の発信（随時。現状維持）

② 来館者数（前年度比）

6年度の来館者数は4万人ほどを見込んでいる。50年の区切として利用者の利用傾向をとらえながらイベントや展示の充実に努め、4万3千人（前年度比増）を目標としたい。

③ 利用者満足度

今年度実施する調査において、「満足」「やや満足」の割合が前回調査以上となるよう、図書館サービスの充実に努める。令和3年度調査時の「満足」「やや満足」が79.6%という結果であったため、それ以上の満足度を目指す。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内容
1	おはなし会	週1回	児童	小学生以下を対象にすばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	赤ちゃんを楽しむ絵本の会	毎月1回(8月は除く)	児童	0歳～1歳の子と保護者対象にわらべうた・赤ちゃん絵本の読み聞かせなど
3	親子で楽しむ絵本の会	毎月1回(8月は除く)	児童	2歳～3歳の子と保護者対象にわらべうた・てあそび・絵本の読み聞かせなど
4	図書館クイズ	年3回	児童	図書館や本に関するクイズ
5	本だいす木 (読書週間関連事業含む)	通年	児童	幼児から小学生を対象に、本の感想などを用紙に書き「本だいす木」(木の形をした台紙)に貼る
6	季節のおはなし会	年4回	児童	夏(夜間)・冬の2回開催する。4歳～小学生を対象に時間と人数を拡大して行う
7	「こどものとも」おみくじ	年3回	児童	「こどものとも」の号数を記載したくじを引いてもらい、該当する号の「こどものとも」を貸出する
8	ひみつの本にちょうせん	年1回	児童	テーマごとに選んだ本を紙袋などに入れて中身がわからないようにして貸出する
9	読書キャンペーン	年1回	児童	夏休み期間中の児童の読書活動推進を図るため、特定テーマの本を借りた冊数に応じて、プレゼントを渡す。
10	スタンプラリー	不定期	児童	干支などの季節にちなんだ本(絵本)を借りて読んでもらい、スタンプを窓口職員が押す。
11	八千代台図書館開館50年記念事業	年1回	児童 一般	八千代台図書館クイズ、ぬり絵、展示等、記念事業を実施する。
12	ティーンズ関連展示	年1回	一般	読書週間に合わせ、ティーンズ対象の展示を実施する。
13	八千代台図書館・公民館合同主催講座	年5回程度	一般	一般対象に、八千代台公民館と様々なテーマで合同主催講座を実施する。
14	ブックリサイクルウィーク	年1回	一般 児童	図書館で除籍等により不用となった本を広く提供する

5. 勝田台図書館

(1) 基本方針・特色

勝田台図書館の利用者は周辺地域に長く住んでいる高齢者や、その高齢者を支える家族が多いため、そういった世帯へ向けたサービスの充実を図る。また、近隣にある小中高等学校に通う生徒も多いため、若い世代の図書館利用の促進に向けたティーンズサービスの強化に力を入れていく。

また多くのボランティアの方や関係団体の協力のもと、資料展示や図書館イベントを実施することにより様々な交流を生みだし、「まちづくりの拠点となる図書館」「生涯学習の拠点としての図書館」として、図書館サービスの充実を図る。

(2) 重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

Xにイベント情報を掲載（毎日。現状維持）

Instagramにイベント情報を掲載（毎日。現状維持）

市ホームページにイベント情報を掲載（毎日。現状維持）

情報メール及びLINEによるイベント情報の発信（随時。現状維持）

すてっぷ21勝田台へ利用案内等の配布（随時。現状維持）

近隣の公民館や学校へポスター・チラシの配布（随時。現状維持）

② 来館者数（前年度比）

コロナ禍による入館制限を解除した後、来館者数は年々増加してきており、令和6年度は5年度より108%増の約8万8千人を予測。しかしながら来館者の増加率は緩やかに下がる傾向にあるため、7年度はイベントと展示をさらに充実させることにより、6年度見込みの8万8千人を維持したい。

③ 利用者満足度

5年度の利用者満足度調査において「満足」「やや満足」と回答した合計の割合が、図書館サービスが76.1%、図書館施設について88.3%、図書館スタッフについて96.7%だった。6年度の利用者満足度調査は現在調査中だが、7年度においても現状の水準を維持・向上できるよう努力していく。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内容
1	おはなし会	毎週1回以上	児童	小学生以下を対象に素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	親子で楽しむ絵本の会	毎月1回以上	親子	2～3歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
3	赤ちゃんを楽しむ絵本の会	毎月1回	親子	0～1歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
4	こども読書週間読書振興行事	年1回	児童	中学生以下を対象に読書振興につながるイベントや展示等を開催
5	読書週間読書振興行事	年1回	一般	読書振興につながるイベントや展示等を開催
6	ブックリサイクルフェア	年1回	一般	図書館で除籍等により不用となった資料を提供する
7	地域活動支援	年1回以上	児童 一般	地域で活動されている方と連携し、沢山の人が楽しめるイベントを開催
8	児童サービス	年1回以上	児童	児童が楽しめるイベントを開催
9	子育て支援サービス	年1回	一般	子育てに関する支援講座を開催
10	中高齢者向けサービス	年1回以上	一般	リタイヤ世代に向けた講座を開催
11	工作会	年1回以上	児童	図書館の利用促進につながる工作会を開催
12	科学講座	年1回以上	児童	科学についての実験や工作講座を開催し、興味を深め学ぶ
13	文学講座	年1回	一般	文学についての講座を開催し、利用者の読書推進を促す
14	ティーンズサービス	年1回	中高生	中高生を対象とした読書振興につながるイベントを開催
15	読書支援サービス (障がい者サービス)	年1回以上	児童	障がいのある方が参加できるイベントを実施
16	インターネットを使った 図書館利活用支援	年1回	一般	WebOPACの使い方、電子書籍の使い方講座を開催
17	ICTの活用教育	年1回	一般	主に高齢者を対象に基本的なICT機器の使い方講座を開催
18	調べる学習支援講座	年1回以上	児童	図書館の資料を使って、調べ学習のコツを学ぶ講座を開催

19	図書館を使った調べる学習コンクール	通年	児童 一般	3館が連携して図書館を使った調べる学習コンクールを開催
20	学習支援	年 1 回 以上	中高生	夏休み等, 学生の長期休暇時期におはなし室の利用が無い時は学習支援として中学生, 高校生を対象におはなし室を臨時学習室として開放

6. 緑が丘図書館

（１）基本方針・特色

緑が丘図書館の周辺はファミリー層に人気の新興住宅地であり，現在も新築マンションが建設されていることから，子育て世代の家族に対するサービスに力を入れていく。また，利用者に占める 70 歳以上の高齢者の割合が増加していることから，高齢者に向けたイベントの充実も図る。

また，ボランティアからの積極的なご協力をいただくことにより，おはなし会を毎日実施することができている。ボランティアにとっては活躍の場が提供されていること，図書館にとってはボランティアを貴重な戦力として活用できるという WIN-WIN の関係となっている。このような関係を通して，さらに図書館サービスの充実を図っていきたい。

（２）重点目標に対する取組

① 広報媒体への情報提供数（前年度比）

図書館ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

市ホームページにイベント情報を掲載（毎月。現状維持）

X によるイベント情報の発信（毎日。現状維持）

Instagram によるイベント情報の発信（毎日。現状維持）

② 来館者数（前年度比）

コロナ禍による入館制限を解除した後，来館者数は 5 年度まで年々増加してきたが，6 年度は 5 年度とほぼ同等の約 18 万人を予測。来館者数の自然増を見込むことはできないため，7 年度はイベントと展示をさらに充実することにより，6 年度見込みの 18 万人を維持したい。

③ 利用者満足度

5 年度の利用者満足度調査においては，「満足」「やや満足」の合計の割合が，図書館サービスについて 90%，図書館施設について 96%，図書館スタッフについて 99% だった。6 年度の利用者満足度は現在調査中だが，7 年度においても，現状の水準を維持・向上できるように努力していく。

(3) 事業内容

	事業名	開催数	対象	内容
1	おはなし会	週 1 回 以上	児童	小学生以下を対象に素ばなし、絵本の読み聞かせ、本の紹介など
2	親子で楽しむ絵本の会	毎月 1 回 以上	親子	2～3 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
3	赤ちゃんを楽しむ 絵本の会	毎月 1 回	親子	0～1 歳児親子を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうたなど
4	こども読書週間読書振興 行事	年 1 回	児童	中学生以下を対象に読書振興行事や展示等を開催
5	読書週間読書振興行事	年 1 回	一般	読書振興行事や展示等を開催
6	ブックリサイクルフェア	年 1 回	児童 一般	図書館で除籍等により不用となった資料を提供する
7	近隣企業と連携	年 1 回 以上	児童 一般	八千代市やその周辺の企業と連携して、企業の特徴的な活動を学び知り体験する
8	地域活動支援	年 1 回 以上	児童 一般	地域で活動されている方と連携し、沢山の人が楽しめるイベントを開催
9	児童サービス	年 1 回	幼児～ 小学生	児童が楽しめるイベントを開催
10	施設利用促進	随時	児童 一般	図書館を有効活用してもらうためのイベントを開催
11	読書推進	年 1 回	児童 一般	読書推進につながるイベントを開催
12	工作会	複数回	児童 一般	図書館の利用促進につながる工作会を開催
13	上映会	複数回	児童 一般	大人向けの映画やこども向けのお楽しみ映画を中心に上映する
14	科学講座	年 1 回 以上	児童	科学についての実験や工作・講座を開催し、興味を深め学ぶ
15	文学講座	年 1 回 以上	児童 一般	文学についての講座を開催し、興味を深め学ぶ
16	多言語支援	複数回	幼児	主に未就学児を対象に英語に触れる機会を増やすイベントを開催
17	ティーンズサービス	年 1 回	中高生	中高生を対象とした読書関連支援事業を開催
18	障がい者向けサービス	年 1 回	一般	障がい者も楽しめるサービスを実施

19	インターネットを使った 図書館利活用支援	年 1 回 以上	一般	電子書籍の利活用促進のための使い方等 の講座を実施
20	調べる学習支援講座	年数回	小中 学生 一般	図書館の資料等を使って, 調べ学習のコツ を学ぶ
21	図書館を使った調べる学 習コンクール	通年	小中 学生	3 館が連携して図書館を使った調べる学 習のコンクールを開催